

研究報告書 第75号

G11 - 02

小学校・中学校・高等学校を通した キャリア教育の在り方について

(第1次報告書)

2006.3

山形県教育センター

は し が き

少子高齢社会の到来、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化等を背景として、就職・進学を問わず、児童生徒の進路をめぐる環境は大きく変化しています。こうした中、児童生徒が生きる力を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができる教育の推進が強く求められています。

「キャリア教育」ということばは、若者のフリーター志向の広がりや無業者の増加、高水準で推移する就職後の早期離職等の課題が既に深刻になっていた、平成11年12月の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」の中で初めて登場しましたが、キャリア教育とは何かということについては、教育関係者の間において、明確な共通理解がなされているとは言えない状況にありました。その背景には「キャリア」及び「キャリア教育」という概念が、本来、極めて包括的なものであること、また、既にこれらの用語が広く知られているにもかかわらず、その意味づけや受け止め方が多様であることなどが考えられます。

キャリアの形成には児童生徒一人一人の成長・発達や経験が総合的にかかわってきます。このため、キャリア教育が行われる場や機会は、学校教育だけではなく、家庭教育等を含む幅の広いものであることはもちろん、その時期についても、卒業後の職業生活や社会生活を通し、生涯にわたって展開される必要があります。

キャリア教育を進めるにあたっては、家庭や地域社会と連携をとりながら、児童生徒が社会の一員として、社会に参画することや働くことの意義を理解し、必要な知識、技能を身に付け、主体的に進路を選択する能力や態度を高められるようにすることが大切です。また、児童生徒に、成し遂げることの難しさに気づかせるとともに、自分のよさを生かして人の役に立つ喜びと成就感を味わわせることによって、こころの成長、発達をうながし、幸せな生活を営んでいくための生きる（生き抜く）エネルギーを育むことが肝要です。

2年間にわたる研究の「第1次報告書」として、本報告書ではキャリア教育の概念を整理し、山形県におけるキャリア教育の理念と基本方向を示すとともに、小学校・中学校・高等学校を通したキャリア教育の系統的な考え方を提示しました。来年度は、「キャリア教育指導者養成講座（中・高）」における研修の成果を踏まえた上で、小学校との接続や先進的な取組事例について研究する計画です。

各学校においては、本報告書の内容が生かされ、キャリア教育の推進と取組の充実が図られることによって、豊かな自然の中で生きる山形の児童生徒が、自分のよさを見つめ、人間としての生き方をしっかり身に付けてくれることを期待します。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり多大なご協力を賜りました、東北公益文科大学教授の國眼眞理子委員長をはじめとする調査研究委員、研究協力者並びに関係各位に衷心より厚く御礼申し上げます。

平成18年3月

山形県教育センター

所 長 佐 藤 義 雄

報告にあたって

本報告書は「山形らしいキャリア教育」を念頭に置きながら、山形の豊かな自然や文化を生かし、児童生徒がよき社会の一員として自立した生活を営むことができるような教育支援プログラムの策定をめざしたものです。

「キャリア」ということばは様々な意味合いを込めて使われることばですが、共通して含まれるのが「ひとつの連なり」「発展、発達」という意味です。小学校段階ではこれまで特に進路を意識した教育は行われていませんが、従来から各教科や総合学習で取り組まれてきた活動を、キャリアという視点から改めて見直し中学校や高等学校へとつなげていただきたいと思います。中学校や高等学校段階ではこれまで進路指導として行われてきた指導や支援を、将来へと連なる生き方を考える、生きる力を育てる教育として再度見つめ直していただきたいと思います。キャリア教育とは決して職業に特化した教育ではありません。様々な人と関わりをもち、何らかの役割を媒介にして社会とどのようにつながっていくのか、自分の持てる力をどのように発揮していくことができるかを考えるきっかけとなる教育です。

児童生徒が自分らしいキャリアを歩んでいくよう支援するためには、どのようにすればよき市民よき職業人へ至る扉を開くことができるのか、自分の価値を知りそれをどのように高めることができるのか、の2点について展望を示すことが肝要です。その前提となる基礎学力の育成は言うまでもありませんが、これからの学校教育には、答えが明確な課題に答えるだけではなく、何が問題であるかわからない新たな課題に主体的創造的に取り組み、その答えを探索できるような力、課題解決にあたってさまざまなネットワークを形成し、それを活用するような力の育成が強く求められています。

しかしこれらの力は学校教育だけで育むことはなかなか難しいものです。家庭や地域と十分な連携を図りながら、face to faceの（じっくりと向き合った）関係の中でこそ築いていきたい力です。今年度から始まった第5次山形県教育振興計画の「いのち」「まなび」「かかわり」のテーマを生かし、今後子どもたちにどのような力を、どのような視点を身に付けてほしいのかを家庭や地域にきちんと明示し、Plan（計画）、Do（実行）、Check（検討）、Action（修正）のサイクルを踏みながら、キャリア教育・支援の質を一層向上させていくことが望まれます。「地域に開かれた学校」のあり方がさまざまに試みられていますが、このキャリア教育もまたその契機になることが期待できるでしょう。

最後になりますが、それぞれの立場から各委員に率直かつ熱心な討議をいただいたこと、その議論を踏まえ取りまとめに尽力いただいた事務局の労苦に厚く感謝を申し上げます。

平成18年3月

キャリア教育調査研究委員会
委員長 國 眼 眞 理 子

目 次

はしがき

報告にあたって

第1章 キャリア教育が求められる背景	5
(1) 経済的な豊かさと価値観の多様化	
(2) 社会体験の減少	
(3) 高学歴化と進路決定の先送り	
(4) 経済のグローバル化の進行	
第2章 キャリア教育の理念と基本方向	7
第1節 山形県がめざすキャリア教育	7
(1) キャリア教育とは	
(2) キャリア教育のねらい	
第2節 山形県におけるキャリア教育の基本方向	9
(1) 従来の教育を踏まえたキャリア教育	
(2) 児童生徒一人一人のキャリア発達への支援	
第3章 キャリア教育の基本的内容	10
第1節 発達段階を踏まえた諸能力・態度の育成	10
第2節 各学校段階におけるキャリア教育	10
(1) 小学校段階におけるキャリア教育	
(2) 中学校段階におけるキャリア教育	
(3) 高等学校段階におけるキャリア教育	
第3節 キャリア教育を進めるにあたって	12
(1) すべての教育活動を通じて行われるキャリア教育	
(2) 保護者や地域、企業、大学、関係機関との連携	

第4章 キャリア教育の学習プログラム 13

第1節 自校における「学習プログラムの枠組み」の作成 13

第2節 自校における目標の設定 13

第3節 教育課程への位置づけと具体的な学習プログラム 14

- (1) 学級（ホームルーム）活動、学校行事等への位置づけ
- (2) 各教科（科目）、道徳及び総合的な学習の時間への位置づけ
- (3) 年間を通した学習プログラム（例）

第5章 キャリア教育を推進する指導力の向上 31

- (1) 教員の資質・指導力向上
- (2) 教員の指導力向上のための研修内容

参考資料

1 山形県の現状 ～本県高卒者の進学・就職状況等～

2 「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」

国立教育政策研究所生徒指導研究センター

- ① 学校段階別に見た職業的（進路）発達段階、職業的（進路）発達課題
- ② 職業的（進路）発達にかかわる諸能力
- ③ 職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）

— 職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の視点から

第1章 キャリア教育が求められる背景

平成11年12月の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」（以下、「接続答申」という。）の中で、「学校教育と職業生活との接続」をいかに改善するかという問題が指摘され、キャリア教育の重要性が強く叫ばれるようになりました。

若者のフリーター志向の広がりやニート（NEET：Not in Education, Employment or Training）、早期離職者の増加等、学校から社会へスムーズに移行できない若者の増加は、今日、深刻な社会問題となっています。こうした現象は、価値観の多様化や社会体験の減少などといった生活環境の変化とともに、高学歴化や経済のグローバル化など、社会環境の変化とも深く関係し合っていると考えられます。

(1) 経済的な豊かさと価値観の多様化

豊かで成熟した社会にあって、人々の価値観や生き方が多様化し、児童生徒が、自己及び他者への積極的な関心の形成や、勤労観、職業観の形成などの発達課題を達成することが困難になっています。

(2) 社会体験の減少

少子化、核家族化、都市化などの進展や情報の発達によって、幼少期からの様々な直接体験の機会や異年齢者との交流の場が減少し、児童生徒の成長・発達を支える上で不可欠な、多様で幅広い人間関係を構築することが難しくなっています。

(3) 高学歴化と進路決定の先送り※1

少子化や家庭の経済的ゆとりの増大は、高学歴志向等を背景として、大学、短期大学、専門学校等の高等教育機関に進学する者の割合を著しく上昇させました。そうした動きに伴い、若者が職業を選択し決定することを先送りする傾向が強くなり、進路意識や目的意識が希薄なまま、とりあえず進学する若者が増加していることが指摘されています。

(4) 経済のグローバル化の進行

経済のグローバル化が進展し、激しい競争を強いられる中、企業はコスト削減や経営の合理化、製造部門の海外移転をはじめ、営業・販売部門等の再構築や、それに伴う雇用調整等を進めています。また、職業人に求められる資質や能力も大きく変化し、採用においては、即戦力志向の高まりや業務の高度化に伴い、経験者採用や中途採用が進むとともに、定型的業務については、外部委託等の比重が高まり、一時的雇用や非正規雇用（アルバイトやパート等）の割合が増加しています。

※1 山形県の現状～本県高卒者の進学・就職状況～（参考資料1）

以上指摘したことなどを背景として、小学校・中学校・高等学校を通したキャリア教育を推進することが強く求められるようになりました。児童生徒一人一人がこのような環境の変化に対応しながら、将来に向かって夢や目標を持ち、力強く生きていくために、学ぶ意欲、働く意欲や、高い職業能力を育成することが求められています。また、これらの前提となる基本的な生活習慣を確立させることや、自らの進路を主体的に決定し、社会人、職業人として自立して生きる力、人間関係を形成したり社会に適応したりする力の育成も求められています。

第2章 キャリア教育の理念と基本方向

第1節 山形県がめざすキャリア教育

(1) キャリア教育とは

○ キャリア

平成16年1月の「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」（以下、「協力者会議報告書」という。）では、「キャリア」を「個人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」としてとらえています。このことから、働いている人にはみなそれぞれに固有のキャリアがあると理解することができます。ここで言う「働くこと」の中には、職業生活以外にも多様な活動があることから、個人がその職業生活、家庭生活、市民生活等の全生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として広くとらえることが必要です。

これを小学校・中学校・高等学校にあてはめると、児童生徒が「学校や地域における諸活動に参加し役割を果たすこと」であり、キャリアとは主として「様々な役割をとおして、自己と学校における活動とを関連付け、価値付けていくこと」ということになります。

○ キャリア発達

キャリアは児童生徒の発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って発達していくものであり、このことを「キャリア発達」と定義します。「協力者会議報告書」では、人間の成長・発達の過程を、キャリア発達の視点からとらえなおし、いくつかの段階（職業的（進路）発達段階）^{※2}を設定し、それらの段階で取り組まなければならない課題（職業的（進路）発達課題）^{※3}を示しています。

○ 勤労観、職業観

「勤労観」とは、勤労に対する価値的な理解・知識にとどまらず、職業としての仕事だけでなく、ボランティア活動、家事、手伝い、その他役割遂行を含む働くことそのものに対する個人の見方や考え方、価値観であり、個人が働くこととどのように向き合って生きていくかという姿勢や構えを規定する基準となるものです。

「職業観」とは、人それぞれの職業に対する価値的な理解、即ち、どんな職業があり、それぞれの職業ではどのような仕事をし、どんな専門的な資質・能力が必要なのかなどについての知識・理解をもとに、自分はどの職業にどんな働きがいや誇りを見いだそうとするのか、あるいは、生きていく上で職業にどのような意味づけを与えていくかということであり、職業の果たす意義や役割についての認識です。

※2、3 学校段階別に見た職業的（進路）発達段階、職業的（進路）発達課題（参考資料2-①）

また、「勤労観」「職業観」は、「勤労観・職業観」として一体的に取り扱われる場合も多いのですが、「勤労観」では役割遂行への意欲や勤勉さ、責任感などの情意面が重視され、「職業観」では様々な職業の世界及び職業倫理などについての理解や認識などの要素が含まれるなどの違いに留意する必要があります。学校において体験活動等を展開するにあたっては、児童生徒の発達段階、学習活動のねらいに応じ、「勤労観」「職業観」のいずれに重点を置くかなどを明確にして実施する必要があると考えられます。

○ キャリア教育

「キャリア教育」について、「接続答申」では、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」としており、その後「協力者会議報告書」では、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえています。児童生徒に、長い人生を歩む上で職業に就くこと、働くことにどのような意義があるのかを考え、価値観を形成することができるよう、働く者や学ぶ者としての自らのキャリアを構築する準備をさせるという視点で、学校においては学校の実情に応じて、共通した認識で教育実践することが重要です。

(2) キャリア教育のねらい

本報告書では、山形県におけるキャリア教育のねらいを、「社会に参画することや働くことを通して、児童生徒が社会の一員として幸せな生活を営んでいくための生きる（生き抜く）力を育むこと」としました。

これは、第5次山形県教育振興計画の基本方策「いのちの教育」で育てる態度のひとつとある『人のために役に立つ喜びを味わうとともに、自分らしい「生き方」を発見し、それを伸ばそうと努力する』ことと重なるものです。児童生徒が「社会のさまざまな人とかかわりの中で、人の役に立つ喜びを味わいながら、自らの役割について考える」ことができるよう、具体的には、以下の取組などによってキャリア教育のねらいを達成します。

- ① 児童生徒が他の人々の生き方に触れる学習などを通して、自分がどう生きるかを考え、自分の将来設計ができる力を身に付けること。
- ② 児童生徒が家庭生活、地域参加活動、就労体験などを通して、人の役に立つ喜び、成し遂げることの困難さや成就感を体験し、将来どのように働くかを考え、主体的に進路選択ができる力を身に付けること。
- ③ 児童生徒が自己の進路実現のために何をどう学ぶかを考え、学びの中から将来直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立できるような「生きる力」を身に付けること。

第2節 山形県におけるキャリア教育の基本方向

(1) 従来の教育を踏まえたキャリア教育

中学校・高等学校においては、進路指導は一個の独立した領域として教育課程に位置づけられています。一方、小学校においては、進路指導は学習指導要領に明記されてはいませんが、全教育活動を通して行う生き方の指導や、勤労観、職業観の育成にかかわることとして、学校教育活動の中で従来から取り組まれてきています。

進路指導は、生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自らの意志と責任で進路を選択決定する能力・態度を身に付けることができるよう、指導・援助することです。進路指導の定義・概念については、キャリア教育と大きな差異は見られず、進路指導はキャリア教育の中核をなすものといえます。また、現行の学校教育活動の内容には、キャリア教育に関する事項が多く含まれています。しかし、これまでの進路指導の取組が、本来あるべき姿で展開されてきたかどうかを点検し、キャリア教育の視点に立って見直す必要があります。その際、「進路発達または進路決定にかかる指導」と「集団または個人を対象とした指導」のなかでも「個別指導による一人一人の進路発達の指導及び援助」を充実させることが重要です。

(2) 児童生徒一人一人のキャリア発達への支援

進路指導の取組は、児童生徒の発達段階による興味・関心や意欲、理解・認識能力等の違いを踏まえて行われる必要があります。児童生徒一人一人の勤労観、職業観が、児童生徒の発達段階に応じて育成されず不十分なままであれば、その育成を行ってから次の発達段階における育成にとりかかる必要があります。このように、児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育成するには、それらが児童生徒の成長とともに発達することを踏まえ、各発達段階における発達課題が達成できるように、小学校の段階から継続的に支援し続ける必要があります。

第3章 キャリア教育の基本的内容

第1節 発達段階を踏まえた諸能力・態度の育成

平成14年11月の国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」（以下、「調査研究報告書」という。）では、職業的（進路）発達にかかわる諸能力※4を、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」の4つの能力領域に大別し、さらに、小学校の低・中・高学年、中学校、高等学校の各段階において身に付けさせたい能力・態度を具体的に例示※5しています。児童生徒一人一人のこころの成長・発達をうながすという視点に立ち、小学校・中学校・高等学校の各段階において、それらの諸能力や態度を計画的・系統的に育んでいくことが必要です。児童生徒の成長に伴い、それぞれの発達段階に応じて、働くことに対する関心や意欲が向上し、諸能力や態度が形成されるよう支援します。

第2節 各学校段階におけるキャリア教育

（1）小学校段階におけるキャリア教育

進路の探索・選択等を行う基盤を形成する時期であることを踏まえ、職業的（進路）発達にかかわる次のような能力や態度が形成されるよう支援します。

- ① 家庭、学校、地域での諸活動の中で、自分の役割を果たすこと等を通して、自分のよさに気づき、自分のよさを伸ばしていくとともに、友達とのよさや考えも認め、互いに協力して学習や活動に取り組むことができる。
- ② 家族の職業に触れる活動等を通して、身近な人の仕事や職業を知り、生活と職業とのかわりや自分の将来について、イメージを持ち考えることができる。
- ③ 家庭での手伝いや学校での係活動・体験活動等を通して、働くことの大切さを知るとともに、仕事における役割の必要性和自分の仕事に対しての責任を理解することができる。
- ④ 「将来どんな人になりたいか」「大きくなったらどんな仕事に就きたいか」等の夢や希望を膨らませ、素直に自己の将来を設計し、生活・学習の課題を自分の力で解決していく等、物事に対して前向きに取り組むことができる。

（2）中学校段階におけるキャリア教育

進路についての現実的探索と暫定的選択を行う時期であることを踏まえ、職業的（進路）発達にかかわる次のような能力や態度が形成されるよう支援します。

※4 職業的（進路）発達にかかわる諸能力（参考資料2-②）

※5 職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み（例）（参考資料2-③）

- ① 家庭、学校、地域での諸活動の中で、他者（学校内、学校外の人）とのかかわりを通して、肯定的な自己理解や、自己有用感を獲得するとともに、自他を尊重した豊かなコミュニケーション能力を身に付けることができる。
- ② 職業や進路に関する多くの情報を主体的に収集するとともに、必要な情報を選択、活用して、多様な職業の世界を知り、自分の生き方や進路に関する現実的な探索を積極的に行うことができる。
- ③ 職場体験学習や上級学校調査等を通して、働くことの意義や働く人々の生き方、職業の社会的な役割を知るとともに、学ぶことと生活や職業との関連、今学習していることの必要性や意味を理解することができる。
- ④ 将来の夢や希望の実現に向け暫定的な進路計画を立案し、その実現のために生活や学習の充実に努め、自覚を持って進路を選択できる等、主体的に生きる力を身に付けることができる。

（3）高等学校段階におけるキャリア教育

進路の現実的探索を深化させ、社会的移行を準備する時期であることを踏まえ、職業的（進路）発達にかかわる次のような能力や態度が形成されるよう支援します。

- ① 将来設計を明確にし、主体的な選択基準となる勤労観、職業観を確立することができる。自己理解を一層深め、自己の能力や適性を理解し伸長させるとともに、他者との交流を通して多様な価値観を知り、自己の成長を図ることができる。
- ② 情報収集能力や情報活用能力を高め、社会の動きを知り、社会に対する関心を高めることができる。また、職業や上級学校に関する情報を収集・検討し、社会のニーズや就業機会を知るとともに、自己の進路を具体的に選択し、自己の希望や能力・適性に照らした的確な将来設計をすることができる。
- ③ インターンシップやオープンキャンパス等の試行体験活動を通して自己の生き方を見つめ直し、働くことや学ぶことの意義を再確認する。現実の世界をしっかりと認識し、将来の生き方や職業を選択することができる。
- ④ 将来設計を具体化するための進路計画を立案し、積極的に試行することができる。また、進路選択はキャリア形成の第一歩であることを認識し、将来にわたって仕事と個人生活との両立を図りながら、自己実現を図ることができるよう、長期的な視点を持つことができる。

なお、高等学校卒業後に希望する進路に応じて、次のような支援をします。

就職を希望する生徒については、

- 希望する職業が求める資質や能力を理解し、実現に向けた進路設計を行えるようにする。

- 働くことの意義を理解するとともに、専門的な知識・技能を習得し、より高めようとする姿勢を持てるようにする。

進学を希望する生徒については、

- 上級学校卒業後、社会人、職業人として生きるという強い自覚を持てるようにする。
- 学習することの意義を理解し、各教科等の学習を通して自己の生き方を探求し、社会や職業への関心や意欲を高めるようにする。

第3節 キャリア教育を進めるにあたって

(1) すべての教育活動を通じて行われるキャリア教育

キャリア教育を進めるにあたっては、これまでの教育活動を、キャリア発達を支援するという視点から点検し、改善を図っていくことが求められます。

キャリア教育は学校のすべての教育活動を通じて行われる必要があり、そのねらいを達成するためには、関連するさまざまな取組が、各学校の教育課程に適切に位置づけられ、計画性と系統性を持って展開されることが大切です。そのためには、発達の各段階において身に付けるべき能力や態度について、児童生徒一人一人の発達の状況を把握・整理し、その児童生徒の伸ばしたい能力や態度の育成を図る教育活動の計画になっているか、各学校での見直しと改善が必要です。その際、すべての教育活動の中に、児童生徒一人一人が自らの生き方を求めようとする視点を持つことが大切です。

また、近年、不足していると指摘されている児童生徒の人間関係形成能力を育成するため、社会の一員として、自他を尊重した人間関係を築いていく基盤となるコミュニケーション能力の育成には特に力を入れていく必要があります。

(2) 保護者や地域、企業、大学、関係機関との連携

キャリア教育を進めるにあたっては、保護者との共通理解を図りながら進める必要があります。働くことに対する価値観や生き方は家庭の中で生まれ、児童生徒の発達に極めて大きな影響を与えます。家族の一員である子どもに、「社会生活や働くことには様々な苦勞もあるが、大きなやりがいや達成感がある」ということを、家庭の中で、折にふれて伝えることができるように働きかけることが大切です。

また、人間は身近な人々との日頃からのかわりや、地域の共同作業などを通して、社会の中で必要な生きる術を多く身に付けていきます。児童生徒を地域社会の行事やボランティア活動、サークル活動、職場体験、インターンシップ、オープンキャンパスや大学教員を招いての模擬授業等、様々な催しや活動に積極的に参加させ、そのような体験活動等を通して、児童生徒が多くの人々とかかわりを持つことができるよう、学校、家庭、地域等が一体となって計画し、実施することが大切です。

第4章 キャリア教育の学習プログラム

キャリア教育は、学校において、全く新しい学習や活動を始めようとするものではありません。これまで実施してきた教育活動を、キャリア教育の視点でとらえなおし、個々の学習や活動を体系化し、すべての教育活動を通して組織的、計画的に進めていこうというものです。したがって、各学校においては、小学校・中学校・高等学校の各段階の課題とその系統性に留意しながら、自校における学習プログラムを作成することが必要です。

第1節 自校における「学習プログラムの枠組み」の作成

「調査研究報告書」では、「職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み(例)」※6(以下、「学習プログラムの枠組み(例)」という。)を示しています。勤労観、職業観の育成にあたっては、それが児童生徒一人一人の職業的(進路)発達の全体を通して形成されるという視点に立ち、段階的・系統的に取り組むことが大切です。このため、「学習プログラムの枠組み(例)」では、職業的(進路)発達の全体を視野に入れ、勤労観・職業観の形成に関する4つの能力(人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力)を幅広く取り上げ、各学校段階(小学校については低学年、中学年、高学年に細分化)ごとに身に付けさせたい能力・態度を一般的な目安として具体的に示しています。また、同一能力の育成については、やさしいものからより高度なものへ、具体的なものから抽象的なものへ、自分中心から他者との関連重視へと、段階的・系統的に取り組むことができるよう構造化しています。

各学校においては、児童生徒の発達の状況を的確に把握し、「学習プログラムの枠組み(例)」に示された能力・態度をもとに、各学校の実情に応じた「自校の学習プログラムの枠組み」を作成することが必要です。その上で、これらの能力が相互に関係し合っていることや、一つの活動によって複数の能力の伸長が可能であることなどに留意し、4つの能力全体を、総合的に発達させることを目指して目標の設定と学習プログラムの立案をすることが大切です。

第2節 自校における目標の設定

自校におけるキャリア教育の目標設定にあたっては、学校全体の目標や各学年の目標を設定した上で、個々の学習や活動の目標を設定します。各学年の目標、及び個々の学習や活動の目標を設定する場合、自校の学習プログラムの枠組みに基づき、各発達段階における課題を達成するために、どのような能力・態度を育成し、児童生徒をどのように変容させていくのかなど、指導のねらいを明確にすることが大切であり、それをより具体的な行動目標として示すことが必要です。

また、学習プログラムの立案にあたっては、4つの能力の育成と同時に、児童生徒一人一

※6 職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み(例)(参考資料2-③)

人のこころの成長・発達をうながすという視点が不可欠であり、各学校段階において、どのような意欲や態度を高めることを目指すのか、具体的な目標を設定することが必要です。

第3節 教育課程への位置づけと具体的な学習プログラム

自校における学習プログラムの立案にあたっては、児童生徒一人一人の理解に努め、その実態や地域の実情を考慮するとともに、各学校の教育計画全体を踏まえた上で、全体計画や各学年の計画、さらには個々の学習や活動の指導計画を立案し、具体的な実践につなげていきます。各学校におけるキャリア教育の目標を実現するためには、自校の学習プログラムの枠組みから明らかになった育成すべき能力・態度を、どのような学習や活動を通して育成するかを明確にし、関連する諸活動を各学校の教育課程に位置づけ、系統性をもって進める必要があります。

教育課程への位置づけは、4つの能力を、学習指導要領に示されている各教科（科目）、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の4領域（高等学校は3領域）のねらい・内容・配慮事項のうち、キャリア教育に関連する事項（表2参照）と結びつけ、学習や活動を再構成して行います。

（1）学級（ホームルーム）活動、学校行事等への位置づけ

学習指導要領の中の、学級（ホームルーム）活動における「学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動」「個人及び社会の一員としての在り方（生き方）に関すること」「望ましい人間関係の育成（確立）」「将来の生き方と進路の適切な選択（決定）」などや、学校行事における「勤労生産・奉仕的行事やボランティア活動」などはキャリア教育を進める上で、重要な役割を担う活動であり、4つの能力で育成することが期待されている能力・態度とその多くが重なっています。したがって、キャリア教育の学習内容は、特別活動の学級（ホームルーム）活動や学校行事の中に、中核的な学習活動として位置づけることが可能であり、これまで実施してきた活動を改善、充実させることが大切です。

（2）各教科（科目）、道徳及び総合的な学習の時間への位置づけ

4つの能力で育成することが期待されている能力・態度には、各教科（科目）、道徳、及び総合的な学習の時間における学習や活動に位置づけることが適切なものが多くあります。

職業に対する興味・関心は、各教科の学習に対する興味・関心に深く結びついていることから、各教科の学習のさまざまな場面で4つの能力を育成することができます。

また、道徳の内容の視点である「自分自身に関すること」「他の人とのかかわりに関すること」「集団や社会とのかかわりに関すること」の学習内容の多くは、4つの能力で育成することが期待されている能力・態度と関連しています。

総合的な学習の時間では、自己の生き方や進路を考えさせたり、ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、ものづくりや生産活動など、各学校が児童生徒の実態や地域の実情

に応じて計画した、特色ある教育活動に位置づけて行うことができます。例えば、高等学校の学校設定教科に関する科目である「産業社会と人間」の学習は、キャリア教育の面で大きな成果を期待できます。この学習の実践を参考に、キャリア教育を総合的な学習の時間における学習活動に位置づけることも考えられます。

（3）年間を通した学習プログラム（例）

本報告書では、「4つの能力を中心とした学習プログラムの枠組み（例）」（表1）と、キャリア教育の目標及び教育課程に位置づける内容を示した「小学校・中学校・高等学校を通した学習プログラム」（表2）を、それぞれ各学校・各学年の段階に応じて系統立てて示しました。さらにそれらを踏まえた上で、各学校・各学年の段階における、年間を通した「学習プログラム（例）」（表3）を示しています。これは、現行の教育活動をキャリア教育の視点で整理したものであり、各学校において、自校の学習プログラムを系統的に作成し、計画的

第3(～4)学年

- ・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする
- ・リーダー・フォロアーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める

- ・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する
- ・多様な勤労観・職業観を理解し、勤労・職業に対する理解・認識を深める

- ・将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む
- ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する

- ・将来設計、進路希望の実現を目指すして、課題を設定し、その解決に取り組む
- ・理想と現実の葛藤経験等を通して、さまざまな困難を克服するスキルを身に付ける



第2学年

4つの能力を中心とした学習プログラムの枠組み (例)

4つの能力を中心とした学習プログラムの枠組み (例)

第3(～4)学年

・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする ・リーダー・フォロアーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する ・多様な勤労観・職業観を理解し、勤労・職業に対する理解・認識を深める	・将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する	・将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む ・理想と現実の葛藤経験等を通して、さまざまな困難を克服するスキルを身に付ける
--	--	---	---

第2学年

・自己の思いや意見を適切に伝えるとともに、他者の意思や価値観等を的確に理解する ・異年齢や異性等多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る	・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる ・社会規範やマナー等の必要性や、習得する	・生きがい、やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する	・選択の基準となる自分なりの価値観、勤労観、職業観を持つ ・自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する
---	--	---	---

第1学年

・新しい環境や人間関係を生かす ・互いに支え、分かち合える友人を得る	・調べたことなどを自分の考えを交え、各備メディアを通して発表・発信する ・就業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験をする	・将来の生き方を考え、今取り組むべき学習や活動を理解する ・学校、社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす	・自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討する ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する
---	---	---	---

第3学年

・自分の悩みを話せる人を持つ ・リーダーとそれを支える人の立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事を互	・上級学校の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる ・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する	・自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる ・将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力する	・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる ・課題に積極的に取り組み、主体的に解決していくようとする
--	---	---	---

第2学年

・自分のよさや個性が分かり、他者のよさや感情を理解し、尊重する ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする	・生き方や進路に関する情報を、様々なメデタを通して調査・収集・整理し活用する ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる	・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する	・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする ・学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かそうとする
---	---	--	---

第1学年

・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かる ・新しい環境や人間関係に適応しながら、人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルを基礎を習得する	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の变化のあらましを理解する ・係、委員会活動に積極的に取り組み、得たことを以後の学習や選択に生かす	・日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する ・将来の夢や職業を思い描き、自分にあふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める	・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する ・よりよい生活や学習、進路や生き方を目標として自ら課題を見出し、していくことの大切さを理解する
--	--	---	---

高学年

・自分の長所や短所に気付く、自分らしさを大切にすること ・自分と異なる意見も理解しようとする ・思いやりの気持ちを持って行動する ・縦割り班等の活動で、自分の役割に責任を持つ	・課題を解決するために必要な情報を採ることと分かったことをまとめ発表すること ・職場見学等を通して働くことの大切さが分かる ・学んだり体験したりしたこと、生活や働くこととの関連を考える	・社会生活にはいろいろな役割があることを大切さが分かる ・将来のことを考える大切さが分かる ・憧れとする職業を持つ ・計画的、継続的に学習する	・係や委員会活動に進んで取り組み、責任を果たそうとする ・自ら課題を見つけ、自分の力で解決しようとする ・自分のよさを進んで伸ばそうと努力する
--	--	--	---

中学年

・友達の良いところを認めたり、友達の良いところや気持ちを理解しようとする ・自分の生活を支えている人に感謝する ・友達と協力し合って活動する ・自分の意見や気持ちを分かちあう	・分からないことを質問したり、自分で調べたりすること ・いろいろな職業や生き方があることが分かる ・係や当番活動に進んで取り組む ・働くことや学ぶことの大切さが分かる	・互いの役割や役割分担の必要性が分かる ・毎日の生活や学習が将来の生き方に結びつくことが分かる ・将来の夢や希望を持つ ・学習などの計画を立てたり、その手順が分かる	・自分のやりたいこと、よいと思うことに進んで取り組み、最後まで自分の仕事や役割を最後までやり通そうとする ・目標達成や課題解決に向けて努力する ・自分のよいところを伸ばそうとする
--	--	---	---

低学年

・友達と仲良く遊び、助け合う ・お世話になった人などに感謝し親切にする ・友達の考えを聞く ・自分の考えをみんなの前で話す	・分からないことを周りの人に聞いて調べる ・身近で働く人々に興味・関心を持つ ・係や当番活動を忘れずにやり、その大切さが分かる	・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる ・作業の準備や後片づけをする ・決められた時間やきまりを守ろうとする	・自分の好きなものや大切なものを持つ ・学校の中には、きまりがあることが分かる ・自分のことは自分で決め、自分で行おうとする
--	---	--	--

人間関係形成能力

情報活用能力

将来設計能力

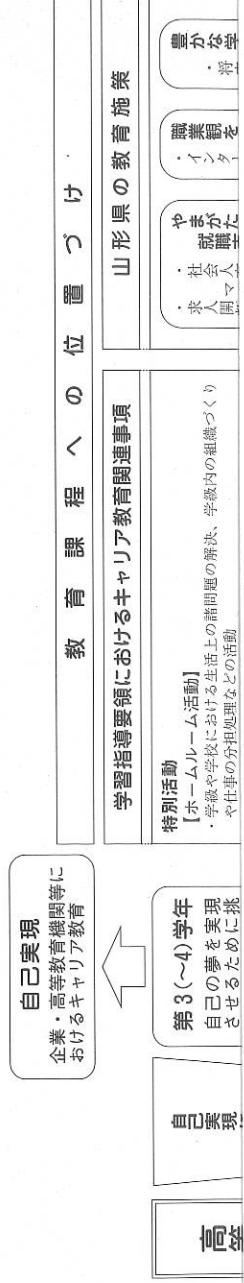
意思決定能力

高等学校段階

中学校段階

小学校段階

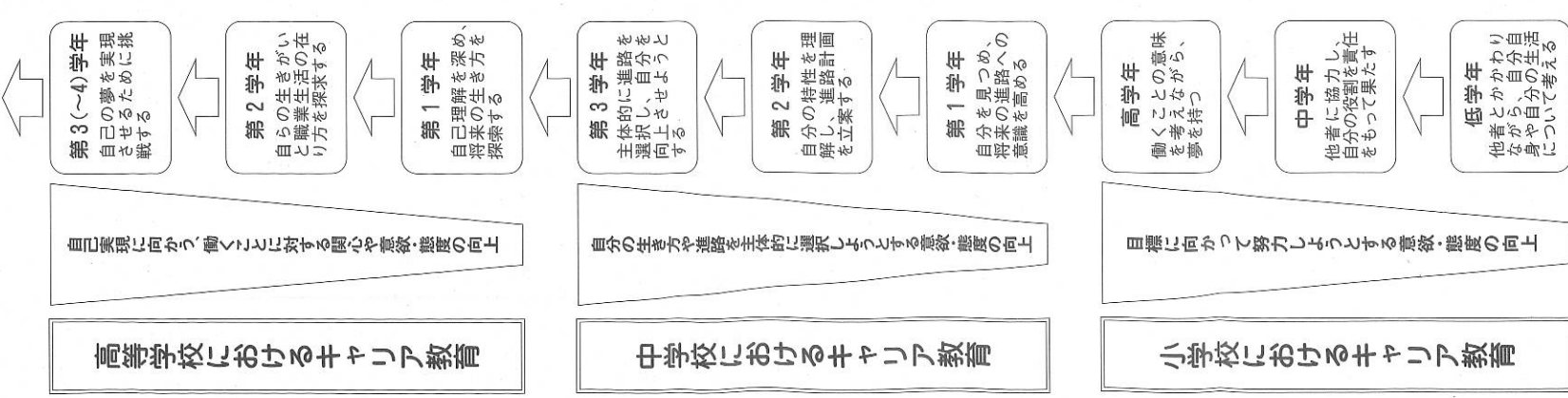
小学校・中学校・高等学校を通じた学習プログラム



小学校・中学校・高等学校・高等学校を通じた学習プログラム

自己実現
企業・高等教育機関等に
おけるキャリア教育

教育課程への位置づけ



学習指導要領におけるキャリア教育関連事項

特別活動
【ホームルーム活動】
・学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動
・個人及び社会の一員としての在り方生き方に関する活動
・職業生活の充実及び将来の生き方と進路の適切な決定に関する活動
【生徒会活動】
・学校生活の充実・改善向上を図る活動やボランティア活動など
【学校行事】
・職業生活の形成や進路の選択決定に資する体験やボランティア活動など
総合的な学習の時間
・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み態度を育て、自己の在り方生き方を考える
・生徒が興味・関心、進路等に応じて設定した課題について知識や技能の深化、総合化を図る学習
・自己の在り方生き方と進路について考察する学習
・ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習
各教科
・「産業社会と人間」や関連する学校設定教科・科目における学習
・保健体育科、国語科、外国語科、公民科における学習
・職業に関する各教科・科目における学習をはじめとした学習

特別活動

【学級活動】
・学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動
・個人及び社会の一員としての在り方生き方に関する活動
・職業生活の充実及び将来の生き方と進路の適切な決定に関する活動
【生徒会活動】
・学校生活の充実・改善向上を図る活動やボランティア活動など
【学校行事】
・勤労生業・奉仕的行事における職業や進路に関する啓発的な体験やボランティア活動など

道徳

・自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めること
・勤労の意義や職業を理解することともに、奉仕の精神をもって公共の福祉と社会の発展に努めること

総合的な学習の時間

・学び方やものの考え方、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み態度を身に付け、自己の生き方を考える
・ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習

各教科

・技術・家庭科、社会科の公民的分野、保健体育科、国語科、外国語科、選択教科における関連分野での学習

キャリア教育実践プロジェクト

・職場体験・インターンシップの五日間以上の連続実施

山形県の教育施策

やまがた高専生
就職支援事業
・社会人育成講座
・求人開拓支援講座

職業観を育むパートナーシップ推進事業
・インターンシップ、社会人講師からの講話

豊かな学力創造事業
・将来の職業を目標とした学習への興味と教科力の育成

先輩からの
メッセージ

小学校におけるキャリア教育

目標に向かつて努力しようとする意欲・態度の向上

高学年
働くことの意義を考へながら、夢を持つ
中学年
他者に協力し、自分の役割を責任をもって果たす
低学年
他者とかかわりながら、自分自身や自分の生活について考える

特別活動
【学級活動】
・学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動
・希望や目標をもつて生きている態度の形成、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成などの活動
【児童会活動】
・学校生活の充実・改善向上のための協力などの活動
【学校行事】
・勤労生業・奉仕的行事における勤労・生産体験やボランティア活動など
道徳
・働くことの大切さを知り、進んで働くこと
・働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをすること
総合的な学習の時間
・学び方やものの考え方、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組み態度を身に付け、自己の生き方を考えること
・ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習
各教科
・生活科や家庭科における家庭での仕事の理解と役割分担に関する学習
・社会科における地域の人々の生産や販売、我が国の産業について調査・見学や資料を活用した調べ学習など
・学習課題や活動の選択、自らの将来について考えて取り上げる職業の設定

高等学校におけるインターンシップのねらい

①働くことの目的や意義を理解すること
②職業生活に必要な能力態度を身に付けること
③異世代とのコミュニケーション能力を高めること
④社会規範やマナーを体得すること

中学校における職場体験学習のねらい

①働くことを知る
②自分の生き方と進路選択の在り方を考えること
③人間関係の大切さに気付くこと
④社会生活のマナーやルールを学ぶこと

小学校における社会見学・地域見学や体験活動のねらい

①働くことの大切さが分かること
②社会では、さまざまな人が役割を持って働いていることが分かり、日常生活との関連を考へること
③地域のよさを認識し、郷土愛を高めること
④集団生活や社会生活のマナーやルールを知る

家庭や幼児教育機関

学習プログラム (例)

表 3

中学校 第2学年 学習プログラム (例)

表3-5

○中学校 目標 自分の生き方を主体的に選択しようとする意欲・態度の向上

○第2学年目標 自分の特性を理解し、進路計画を立案する

〈職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力〉

- ①人間関係形成能力 ○自分のよさや個性が分かり、他者のよさや感情を理解し尊重する ○他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする)
- ②情報活用能力 ○生き方や進路に関する情報を様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する ○体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる)
- ③将来設計能力 ○様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える ○進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する)
- ④意思決定能力 ○自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする ○学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かそうとする)

※表内の○数字は、職業的 (進路) 発達をうながすために育成する主な諸能力を示す。なお、総合的な学習の時間においては①～④の諸能力がバランスよく育成されるように配慮する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生生活 行事 活動	入学式 ① ④ 始業式	地区総合体育 大会 ④	終業式 県総合体育大会 ④	夏季休業 始業式 ③ ④	運動会 ① ④	文化祭 ③		終業式 年末年始休業 ③	始業式 ④ 送る会 ①	卒業式 修了式 年度末休業 ③		
学級活動	・2年生としての 抱負 ① ④ ・私たちの学級 をつくらう ② ④	・行事への積極 的な参加 ① ・心と体の健康 ④	・1学期の反省 と夏休みの計 画 ③	・学級の生活を 見直そう ①	・職業とは何 だろう ② ・職業に就く ためには ②	・自分の個性を 生かそう ④ ・異性の理解 ①	・ボランティア 活動とは ① ・充実した学習 ②	・上級学校につ いて知ろう ② ・2学期を振り 返ろう ③	・自分の力を高 めていこう ④ ・自分の進路 を立てよう ③	・1年の成長を 振り返る ② ・3年生への 心がまえ ③		
道徳	・理想の実現 1- (4) ③ ・役割の自覚 4- (1) ③	・礼儀 2- (1) ① ・思いやり 2- (2) ①	・生きる喜び 3- (3) ③ ・広い心 2- (5) ①	・勤労・奉仕 4- (5) ②	・職業とは何 だろう ② ・職業に就く ためには ②	・自分の個性を 生かそう ④ ・異性の理解 ①	・ボランティア 活動とは ① ・充実した学習 ②	・上級学校につ いて知ろう ② ・2学期を振り 返ろう ③	・自分の力を高 めていこう ④ ・自分の進路 を立てよう ③	・1年の成長を 振り返る ② ・3年生への 心がまえ ③	・異性の理解 2- (4) ① ・個性の伸長 1- (6) ① ・自主自律 1- (3) ① ・思いやり 2- (2) ①	
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作り ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組								

中学校 第3学年 学習プログラム (例)

表3-6

○中学校 目標 自分の生き方を主体的に選択しようとする意欲・態度の向上

○第3学年目標 主体的に進路を選択し、自分を向上させようとする

〈職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力〉

- ①人間関係形成能力 ○自分の悩みを話せる人を持つ ○リーダーとそれを支える人の立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事を)
- ②情報活用能力 ○上級学校の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる ○将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する)
- ③将来設計能力 ○自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる ○将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力する)
- ④意思決定能力 ○教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる ○課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする)

※表内の○数字は、職業的 (進路) 発達をうながすために育成する主な諸能力を示す。なお、総合的な学習の時間においては①～④の諸能力がバランスよく育成されるように配慮する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生生活 行事 活動 行事	入学式 ① ④ 始業式	地区総合体育 大会 ④	終業式 県総合体育大会 ④	夏季休業 始業式 ③ ④	運動会 ① ④	文化祭 ③		終業式 年末年始休業 ③	始業式 ④ 送る会 ①	卒業式 修了式 年度末休業 ③		
学級活動	・3年生としての 抱負 ① ④ ・私たちの学級 をつくらう ② ④	・行事への積極 的な参加 ① ・自分の生き方 とは ③	・1学期の反省 と夏休みの計 画 ③	・よりよい学習 方法 ②	・進路選択とは ④ ・社会人として の自分 ③	・自分を多角的 に理解する ① ・不得意教科の 克服 ②	・自分の進路 の選択 ④ ・自分の進路 の選択 ④	・進路の選択 ④ ・自分の進路 の選択 ④	・進路の選択 ④ ・自分の進路 の選択 ④	・進路の選択 ④ ・自分の進路 の選択 ④	・進路の選択 ④ ・自分の進路 の選択 ④	・進路の選択 ④ ・自分の進路 の選択 ④
進徳	・理想の実現 1- (4) ③ ・役割の自覚 4- (1) ③	・礼儀 2- (1) ① ・役割の自覚 4- (1) ③	・生きる喜び 3- (3) ③ ・広い心 2- (5) ①	・勤労・奉仕 4- (5) ②	・社会の一員と しての自覚 4- (8) ②	・自主自律 1- (3) ① ・思いやり 2- (2) ①	・思いやり 2- (2) ①	・思いやり 2- (2) ①	・思いやり 2- (2) ①	・思いやり 2- (2) ①	・思いやり 2- (2) ①	・思いやり 2- (2) ①
総合的な学習の時間	オリエンテーション ・将来の夢 ・企業訪問に向けて1 ・意見と取り組み方 ・事前訪問の確認 ・委員会組織の作成 ・班編成 ・訪問企業の選択 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	職場体験学習に向けて ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・事前訪問の確認 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて2 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて3 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて4 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて5 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて6 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて7 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて8 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて9 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて10 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程	企業訪問に向けて11 ・意見と取り組み方 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・面会の約束 ・自主研修の取組 ・自主研修の行程
教科	国語：目的意識や相手意識を高め、聞く・話す・読む・書く力を高める 社会：課題づくり・調べ方・まとめ方・発表の仕方等を適用し社会的現象をとらえる力を身に付ける 数学：数学的な現象に興味を持ち、統計的な処理能力を高める	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける	理科：自然のさまざまな事象に興味を持ち、課題解決能力を身に付ける 音楽：仲間と共に美しい音楽づくりを追求し、豊かな表現力を身に付ける 美術：美術の創造活動の喜びを味わい、豊かな表現力を身に付ける

高等学校 第1学年 学習プログラム (例)

表3-7

◎高等学校目標 自己実現に向けて、働くことに対する意欲や態度を向上させる

○第1学年目標 自己理解を深め、将来の生き方を探索する

(職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力)

①人間関係形成能力 ○新しい環境や人間関係を生かす 〇互いに支え、分り合える友人を得る)

②情報活用能力 ○調べたことなどを自分の考えを交え発表・発信する 〇職業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む)

③将来設計能力 ○将来の生き方を考え、今取り組むべき学習や活動を理解する 〇学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす)

④意思決定能力 ○自分を生かす役割を果たしていく上でのさまざまな課題とその解決策について検討する 〇進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する)

※表内の①～④は職業の(進路)発達をうながすために育成する諸能力を示す。												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生・生徒・校務活動	入学式 始業式 進路希望調査 進路適性検査③	創立記念式典 講演会 保護者進路説明会	個人面談③④ 三者面談③④	体育祭 終業式 三者面談③④	夏季休業 始業式	進路希望調査 学校祭	地域清掃ボランティア①③	生徒総会	2年次のコース決定 終業式 年末年始休業	始業式 進路希望調査③④		卒業式 修了式 春季休業
ホームルーム活動	自己紹介(スピーチ) ・新しい人間関係を築く ・自己の中で自己を表現し、仲間と理解する ・将来の夢(作文) ・高校入学の目的・意義を明確にし、将来の夢や希望について考える	学習の意義 (討論) ①人はなぜ学ぶのか、学習の意義について話し合い、自分の考えを深める	夏休みの生活について(学習計画表の作成)③④ ・これまでの学習や生活を振り返り、2年生にふさわしい学習目標を設定する	進路適性検査の分析 ①自分の特性や得意分野などを理解する	学校祭に向けて活動①③④ ・自分の仕事を分担し、役割を自覚し、責任を果たす	上級学校調べ(グループ活動)③④ ・上級学校の種類とそれぞれの特徴について調べ、違いを理解する	生徒総会に向けて(討論)①③④ ・学校生活の充実・改善向上について話し合う		年末年始の生活について(学習計画表の作成)③④ ・これまでの学習や生活を振り返り、2年生にふさわしい学習目標を設定する	「自分」を知る(自己史の作成・発表)③④ ・これまでの成長の歩み振り返り、将来の自分らしい生き方を考える。	春休みの生活について(学習計画表の作成)③④ ・これまでの学習や生活を振り返り、2年生にふさわしい学習目標を設定する	
総合的な学習の時間	卒業生に学ぶ(講話) ・先輩の進路決定プロセスに学ぶ ・先輩の生き方から学ぶ ・先輩の生き方から学ぶ ・先輩の生き方から学ぶ	働くことの意義(討論) ①働くことについて考える ②働くことについて考える ③働くことについて考える ④働くことについて考える	職業について知る(調査・発表)②③④ ・職業の現状と将来の展望 ・必要な能力・資格などについて調べる	職業人インタビュー(体験・発表)②	福祉施設訪問(体験)①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める	ライフプランの立案(発表)②③④ ・将来の生き方を考える ・課題を明らかにし、今取り組むべき学習や活動を理解する ・明確な進路目標を持つ						
教科・科目	国語 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	英語 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	数学 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	理科 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	社会 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	家庭・家族・家庭と社会とのかかわりや理解し、家庭生活の充実と向上を図る能力と態度を身に付ける 外国語・外国語による実践的コミュニケーション能力を高める 情報・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する 社会の中で道徳及び情報技術が果たしている役割を理解する 情報化の進展に主体的に対応し、情報社会に参加するうえでの望ましい態度を身に付ける						

※表内の①～④は職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力を示す。

高等学校 第2学年 学習プログラム (例)

表3-8

◎高等学校目標 自己実現に向けて、働くことに対する意欲や態度を向上させる

○第2学年目標 自らの生きがいと職業生活の在り方を探索する

(職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力)

①人間関係形成能力 ○自己の思いや意見を適切に伝えるとともに、他者の意志や価値観等を的確に理解する 〇異年齢や異性等多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る)

②情報活用能力 ○職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続・方法などが分かる 〇社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し、習得する)

③将来設計能力 ○生きがいややりがいがあり、自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える 〇職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し進路学習を立案する)

④意思決定能力 ○選択の基準となる自分なりの価値観、勤労観、職業観を持つ 〇自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する)

※ 表内の①～④は職業的（進路）発達をうながすために育成する諸能力を示す。												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生・生徒・校務活動	入学式 始業式 進路希望調査 進路適性検査③	創立記念式典 講演会 講演会 保護者進路説明会	個人面談③④ 三者面談③④	体育祭 終業式 三者面談③④	夏季休業 始業式	進路希望調査 学校祭	地域清掃ボランティア①③	生徒総会	職業適性検査 終業式 年末年始休業	始業式 進路希望調査 ③④		卒業式 修了式 春季休業
ホームルーム活動	自己紹介（スピーチ）① 反省と展望② これまでの学習や生活を振り返り、学習状況を目標に向け計画を作成する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する
総合的な学習の時間	社会人講師からの講話 ①社会人としての生き方から学ぶ ②社会人としての生き方から学ぶ ③社会人としての生き方から学ぶ ④社会人としての生き方から学ぶ	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する	進路について② ・大学や短大、専門学校への進学について調べ、卒業後に求められる資質や能力について理解する
教科・科目	国語 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	英語 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	数学 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	理科 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	社会 ・自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合う ・目的や趣意に応じて、効果的に話しつたりの確に聞き取る ・自分の考えを工夫して文章を書く ・作者や主人公の生き方を学ぶ ・現代社会・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考える ・現代社会と自己のかかわりについて着目し、人間としての在り方を考える ・健康の保持増進のための実践力や、明るく意欲で活力ある生活を送る態度を身に付ける	家庭・家族・家庭と社会とのかかわりや理解し、家庭生活の充実と向上を図る能力と態度を身に付ける 外国語・外国語による実践的コミュニケーション能力を高める 情報・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する 社会の中で道徳及び情報技術が果たしている役割を理解する 情報化の進展に主体的に対応し、情報社会に参加するうえでの望ましい態度を身に付ける	福祉施設訪問（体験）①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める	福祉施設訪問（体験）①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める	福祉施設訪問（体験）①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める	福祉施設訪問（体験）①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める	福祉施設訪問（体験）①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める	福祉施設訪問（体験）①③④ ・ボランティア活動を通して、高齢者の理解を深める

※表内の①～④は職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力を示す。

高等学校 第3(～4)学年 学習プログラム (例)

表3-9

◎高等学校目標 自己実現に向けて、働くことに対する意欲や態度を向上させる

○第3(～4)学年目標 自己の夢を実現させるために挑戦する

(職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力)

- ◎人間関係形成能力 ○自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする ○リーダー・フォロアシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める
- ◎情報活用能力 ○卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する ○多様な労働観・職業観を理解し、勤労・職業に対する理解・認識を深める
- ◎将来設計能力 ○将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む ○ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する
- ◎意思決定能力 ○将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む ○理想と現実の葛藤経験等を通して様々な困難を克服するスキルを身に付ける

※ 案内の①～④は職業的 (進路) 発達をうながすために育成する諸能力を示す。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学生 校会 行事 活動	入学式 ① ② ③ ④ 進路希望調査 ③④	創立記念式典 ① ② ③ ④ 保護者進路説明会 ③④	個人面談③④	体育祭 ① ② ③ ④ 終業式 ③④	夏季休業 ① ② ③ ④ 始業式 ③④	学校祭 ①	地域清掃ボラ ンティア①③	生徒総会 ③	三者面談③④ 終業式 ③④ 年末年始休業	始業式 ④		卒業式 ④
ホームルーム活動	自己紹介(ス ピーチ) ① ガイダンス ③ 進路希望実 現に向けたた 学習活動に 見通しを持つ			夏休みの生活に ついて(学習計 画の作成) ③ ・これまでの学 習や生活を鑑 り振り返り、目標 を設定する	事前活動(職業 理解)② ・オースケルンバ スや企業前に進 路説明会を行う ・進路希望実 現に向けたた 学習活動に 見通しを持つ	学校祭に向け た活動 ① ・自分の仕事の 分相と役割を 自覚し、責任 を果たす	生徒総会に向 けて(討論)③ ・学校生活の 充実、改善向 上について 考え、話し合 う	カウンセリング ③④ ・カウンセリ ング活動を通 して、進路 学習支援を 深化させる	年末年始の生 活について(学 習計画表の作成) ③④ ・これまでの学 習や生活を鑑 り振り返り、目標 を設定する		ライフプラン作成 ③④ 「自分」を知る (話し合い) ③④ ・自分の生きが いについて考 え、生きがい があり自己を 生かせる将来 の生き方につ いて話し合う	
総合的な学習の時間	社会人・卒業生に 学ぶ(講話)②③ ・社会人として生 きることを喜び や厳しさを知り、 その責任や貢献 を身近なもの で考える	進学について② ・卒業後に得ら れる資格や入 試制度につい て理解する										心構え ③④ ・社会の一員とし てより良く生 きるための態度と 心構えを確認す る
教科・科目	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習	国語 政治・経済 実技・実習

第5章 キャリア教育を推進する指導力の向上

キャリア教育をより効果的に行うためには、教員の指導力向上が不可欠であり、指導力向上のために、学校全体で組織的な研修に取り組む必要があります。

(1) 教員の資質・指導力向上

キャリア教育を推進する上で、教員の資質や専門性を高めることが極めて重要です。そのためには教員一人一人が、キャリア教育について理解し、特別活動、道徳、総合的な学習の時間、各教科(科目)における活動が、キャリア教育においてどのような位置づけと役割を果たすのかについて、十分理解し、認識することが不可欠です。

また、そうした取組や研修を積み重ねながら、児童生徒の発達やそれを取り巻く環境の変化等について認識するとともに、キャリア教育の実践に必要な知識や指導方法、児童生徒に身に付けさせたい能力・態度等についての目標設定やその評価方法等を習得していくことが大切です。

(2) 教員の指導力向上のための研修内容

- ① キャリア教育に対する理解と認識
キャリア教育が求められる背景やその定義と意義を理解し、キャリア発達の中核となる能力について、日常的教育活動とつなげることができるようにします。
- ② 自校におけるキャリア教育プログラム開発能力の養成
児童生徒の発達段階や発達課題を踏まえ、学校のエデュケーション全体を見直し、キャリア教育の全体計画や具体的な指導計画を作成できるようにします。
- ③ 小学校・中学校・高等学校を通した発達段階の理解とキャリア発達に必要な諸能力の理解
キャリア発達をうながすという視点から、小学校・中学校・高等学校の各段階の目標となる育成すべき具体的な能力や態度を設定し、それを基本的な軸とする構造化された枠組みに基づいて展開できるようにします。
- ④ コーディネート能力の養成
校内(カリキュラム開発等)、校外(家庭、地域、企業等との連携・協力)における各種の活動が目的にそって効果的に働くよう調整できる能力を養成します。
- ⑤ 児童生徒のコミュニケーション力を育成するための能力養成
コミュニケーション能力を育むためには、まず自分の考えを明確にすること、自分と他者の考えの相違を知り、互いに尊重することが大切であり、それらを踏まえた「話す能力」や「聞く能力」、「観察する能力」等の育成が重要です。教師がその必要性を理解するとともに、児童生徒の指導においてコミュニケーションの必要性や意味について理解をうながすとともに、相互理解のためのコミュニケーション能力を養成することができるようになります。

⑥ キャリア・カウンセリング能力の養成

児童生徒一人一人の生き方や進路、教科・科目等の選択に関する悩みや迷いを受け止め、自己の可能性や適性についての認識を深めさせたり、適切な情報を提供しながら、児童生徒が自己決定と自己責任で進路を選択することができるようにするための指導援助です。

キャリア・カウンセリングには、カウンセリングの技法、キャリア発達、職業や産業社会等に関する専門的な知識や技能などが求められることから、こうした専門性を身に付けた教員を養成していく必要があります。また基本的なキャリア・カウンセリングについては、すべての教員が行うことができるようにしていく必要があります。

⑦ 教育プログラムの公開・交流

小学校・中学校・高等学校という異なる校種及び同種の学校間の研修交流を図り、キャリア教育に関わるプログラムを相互に評価し合うことで、より充実したキャリア教育の実践を目指します。

以上の点を踏まえた上で、本報告書では、「平成18年度県教育センターにおける教員研修実施計画書（案）」（表4）を示しました。本県におけるキャリア教育を推進し、教員の指導力向上を図るために、県教育センターでは、平成18年度から中学校・高等学校（平成19年度からは小学校を含む）の教員を対象にした「キャリア教育指導者養成講座」を実施する予定です。

平成18年度 県教育センターにおける教員研修 実施計画書（案）

- 1 名 称 平成18年度「キャリア教育指導者養成講座」（中・高）
- 2 目 的 学校におけるキャリア教育を推進し、指導力の向上を図る
- 3 対 象 40名 （中学校教員20名、高等学校教員20名）
- 4 日程・内容等

	研 修 内 容	方 法	講 師
1 日 目	・開講式・オリエンテーション	(10分)	
	・『山形県のキャリア教育が目指すもの』	講義(120分)	大学教授
	・『県内の先進校の取り組み』	事例研究・協議 (180分)	学校教員 センター指導主事
2 日 目	・『キャリア教育に企業が求めるもの』 …… 産業界からの声 ……	講義(90分)	企業関係者(県内)
	・キャリア教育実践演習Ⅰ 自校におけるプログラム開発 ・キャリア教育実践演習Ⅱ キャリア教育に必要なマインドと スキル*	講義・演習 (240分)	センター指導主事 その他の講師(県外)
	・閉講式	(10分)	

*キャリア教育に必要なマインドとスキル

- 1) キャリア教育に対する理解と認識
- 2) キャリア発達に必要な諸能力の理解
- 3) コーディネート能力
- 4) 児童生徒のコミュニケーション力養成能力
- 5) キャリア・カウンセリング能力

調査研究委員

東北公益文科大学教授	國眼眞理子(委員長)
株式会社ヤマザワ取締役	鈴木澄夫
天童市立干布小学校校長	高宮洋悦
天童市立第二中学校校長	伊藤宏
山形県立霞城学園高等学校校長	柳谷豊彦

研究協力者

白鷹町立西中学校教頭	小林宏一郎
山形県立米沢商業高等学校教頭	窪田俊昭

事務局

義務教育課	指導主事	大谷敦司		
高校教育課	指導主事	鈴木慈		
教育センター	教育相談部長	細矢匡文	指導主事	安藤俊昭
	指導主事	高橋章一	指導主事	和田雅彦
	指導主事	仁藤重司	指導主事	樋口良彦
	指導主事	富塚義幸		

委員会審議経過

第1回 平成17年6月1日(水)

- (1) キャリア教育調査研究事業計画について
- (2) キャリア教育にかかわる国及び東北各県の動向について
- (3) 山形県のキャリア教育の現状と課題について
- (4) 「小学校・中学校・高等学校を通したキャリア教育の在り方」について
- (5) 「中学校・高等学校教員キャリア教育研修プログラム」について

第2回 平成17年8月25日(木)

- (1) キャリア教育にかかわる山形県の取組について
- (2) 「小学校・中学校・高等学校を通したキャリア教育の在り方」の骨格(案)について
- (3) 「中学校・高等学校教員キャリア教育研修プログラム」(案)について

第3回 平成17年12月7日(水)

- (1) 「小学校・中学校・高等学校を通したキャリア教育の在り方」(案)について
- (2) 「中学校・高等学校教員キャリア教育研修プログラム」(案)について

参考資料

- 1 山形県の現状 ～ 本県高卒者の進学・就職状況等 ～
- 2 「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」国立教育政策研究所生徒指導研究センター
 - ① 学校段階別に見た職業的(進路)発達段階、職業的(進路)発達課題
 - ② 職業的(進路)発達にかかわる諸能力
 - ③ 職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)
—— 職業的(進路)発達にかかわる諸能力の育成の視点から

山 形 県 の 現 状

～本県高卒者の進学・就職状況等～

1 本県高等学校卒業者の進路状況（全日制・定時制：公私立合計）〔学校基本調査〕

	H13年3月卒	H14年3月卒	H15年3月卒	H16年3月卒	H17年3月卒
卒業 者 数	14,159	13,911	13,980	13,478	13,527
大学等進学者数 (進学率)	5,076 (35.8%)	5,251 (37.7%)	5,334 (38.2%)	5,155 (38.3%)	5,433 (40.2%)
就 職 者 総 数 (就職率)	4,612 (32.6%)	4,071 (29.3%)	3,948 (28.2%)	3,931 (29.2%)	3,877 (28.7%)
県内就職者率	(83.9%)	(81.3%)	(80.2%)	(80.3%)	(80.4%)
「進学も就職もして いない者」の比率 〈全国〉	593 (4.2%) 〈9.8%〉	708 (5.1%) 〈10.5%〉	747 (5.3%) 〈10.3%〉	573 (4.3%) 〈9.7%〉	574 (4.2%) 〈8.5%〉

※『就職者総数』は、就職者、就職進学者、専修学校等に入学しつつ就職した者の合計

※『大学等進学者』とは、「大学（学部）」「短期大学（本科）」「大学・短期大学の通信教育部及び放送大学」「大学・短期大学（別科）」「高等学校（専攻科）」及び「盲学校・聾学校・養護学校高等部（専攻科）」へ進学した者及び進学しかつ就職した者をいう

2 本県高等学校卒業者の就職内定状況〔文部科学省初等中等教育局調査〕

	H13年3月卒	H14年3月卒	H15年3月卒	H16年3月卒	H17年3月卒
山 形 県	96.1	92.9	93.4	95.6	95.6
全 国	89.2	86.3	86.7	89.0	91.2
全 国 順 位	5	8	8	3	9
未内定者数(県)	185	302	274	177	178

3 高卒就職者の1年後の離職率〔厚生労働省職業安定局調査〕

	H4年3月卒	H11年3月卒	H12年3月卒	H13年3月卒	H14年3月卒
山 形 県	14.7	23.9	26.1	24.8	25.1
全 国	19.3	24.0	26.2	25.7	25.2

【参考】フリーターの状況〔公立高等学校のみ：高校教育課調査〕

(1) 年次別人数：H13.3卒：98人 H14.3卒：92人 H15.3卒：115人 H16.3卒：168人

(2) 理由〔動機〕：H16.3卒の168人中

ア モラトリアム（目標定まらず）	43人（26%）	－	適性がわからない	等
イ 雇用環境悪化	21人（13%）	－	目指す職場がない	等
ウ 夢追求型	21人（13%）	－	芸能人になりたい	等
エ その他	83人（49%）			

国立教育政策研究所生徒指導研究センター

「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」から

① 学校段階別に見た職業的(進路)発達段階、職業的(進路)発達課題

小学校段階	中学校段階	高等学校段階
〈職業的(進路)発達段階〉		
進路の探索・選択にかかる 基盤形成の時期	現実的探索と暫定的選択の 時期	現実的探索・試行と社会的 移行準備の時期
〈職業的(進路)発達課題〉		
- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 - 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 - 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 - 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成	- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 - 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 - 進路計画の立案と暫定的選択 - 生き方や進路に関する現実的探索	- 自己理解の深化と自己受容 - 選択基準としての職業観・勤労観の確立 - 将来設計の立案と社会的移行の準備 - 進路の現実吟味と試行的参加

② 職業的(進路)発達にかかわる諸能力

領域	領域説明	能力説明
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力 【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力 【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力 【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力
意思決定能力	自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力 【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力

③ 職業観・勤労観を育む

職業的(進路)発達の段階		
○職業的(進路)発達課題(小・高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題 職業の選択能力及び将来の職業人として必要 成という側面から捉えたもの。		
職業的(進路)発達にかかわる諸能力		
領域	領域説明	能力説明
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【自己の理解能力】 自己理解を深め、多様な個性を理解し、2うことを大切にしていく能力 【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織・コミュニケーション関係を築きながら、を果たしていく能力
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力 【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力 【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力
意思決定能力	自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力 【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力

③ 職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)－職業的(進路)発達にかかわる諸能力の育成の観点から

※太字は、「職業観・勤労観の育成」との関係が特に強いものを示す

			小 学 校			中 学 校		高 等 学 校
			低 学 年	中 学 年	高 学 年			
職業的（進路）発達段階			進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期		現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
○職業的（進路）発達課題（小～高等学校段階） 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面から捉えたもの。			・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			・肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索		・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・将来設計の立案と社会的移行の準備 ・進路の現実吟味と試行的参加
職業的（進路）発達にかかわる諸能力			職業的（進路）発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度					
領域	領域説明	能力説明						
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【自己の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力	・自分の好きなことや嫌いなことをはっきり言う。 ・友達と仲良く遊び、助け合う。 ・お世話になった人などに感謝し親切にする。	・自分のよいところを見つける。 ・友達の良いところを認め、励まし合う。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。	・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。	・自分のよさや個性が分かり、他者のよさや感情を理解し、尊重する。 ・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かる。 ・自分の悩みを話せる人を持つ。	・自己の職業的な能力・適正を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる。 ・互いに支え合い分かち合える友人を得る。	
		【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	・あいさつや返事をする。 ・「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う。 ・自分の考えをみんなの前で話す。	・自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。 ・友達の見え方や考えを理解しようとする。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たす。	・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・異年齢集団の活動に進んで互いに支え合いながら仕事をする。 ・新しい環境や人間関係に適應する。	・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 ・リーダー・フォロアーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 ・新しい環境や人間関係に適應する。	・自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意志等を的確に理解する。 ・異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。 ・リーダー・フォロアーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 ・新しい環境や人間関係を生かす。	
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。	・いろいろな職業や生き方があることが分かる。 ・分からないことを、図鑑などで調べたり、質問したりする。	・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ・自分に必要な情報を探す。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。 ・就職後の学習の機会や上級学校卒業時の就職等に関する情報を探索する。 ・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる。 ・調べたことなどを自分の考えを交え、各種メディアを通して発表・発信する。	
		【職業理解能力】 様々な体験を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことなどを理解していく能力	・係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。	・係や当番活動に積極的に参加する。 ・働くことの楽しさが分かる。	・施設・職場見学等を通して、働くことの大切さや苦労が分かる。 ・学んだり体験したりしたこと、生活や職業との関連を考える。	・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 ・係・委員会活動や職場体験等で得たことを、後の学習や選択に生かす。	・就業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し、習得する。 ・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める。	
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。	・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ・日常生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。 ・仕事における役割の関連性や変化に気付く。	・自分の役割やその進め方、よりよい集団生活のための役割分担やその方法等が分かる。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。 ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。	
		【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	・作業の準備や片づけをする。 ・決められた時間やきまりを守ろうとする。	・将来の夢や希望を持つ。 ・計画づくりの必要性に気づき、作業の手順が分かる。 ・学習等の計画を立てる。	・将来のことを考える大切さが分かる。 ・憧れとする職業を持ち、今しなければならぬことを考える。	・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に選択する。 ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。	・生きがい・やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。 ・将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む。	
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	・自分の好きなもの、大切なものを持つ。 ・学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。	・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制する。	・係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。 ・教師や保護者に対する自分の悩みや葛藤を話す。	・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。	・選択の基準となる自分なりの価値観、職業観・勤労観を持つ。 ・多様な選択肢の中から、自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。 ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。 ・選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たす。	
		【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適應するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	・自分のことは自分でやろうとする。	・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・自分の力で課題を解決しようとする。	・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 ・将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。	・学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かす。 ・よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出し、このことの大切さを理解する。 ・課題に積極的に取り組み、主体的に解決していくこととする。	・将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む。 ・自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討する。 ・理想と現実との葛藤経験等を通して、様々な困難を克服するスキルを身につける。	

国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」から

参 考 文 献

- ・「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」平成11年12月 中央教育審議会答申
- ・「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」
平成14年11月 国立教育政策研究所生徒指導研究センター
- ・「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」
平成16年1月28日 文部科学省
- ・山形の教育「いのち」そして「まなび」と「かかわり」 第5次山形県教育振興計画
平成16年3月 山形県教育委員会
- ・「小学校学習指導要領」 文部科学省
- ・「中学校学習指導要領」 文部科学省
- ・「高等学校学習指導要領」 文部科学省
- ・「心のノート 小学校 活用のために」 文部科学省
- ・「平成17年度 キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修〔応用コース〕
研修資料」 独立行政法人教員研修センター 文部科学省
- ・「キャリア教育入門」 三村隆男著 実業之日本社
- ・「図解 はじめる小学校キャリア教育」 三村隆男編 実業之日本社
- ・「キャリア教育が小学校を変える！」 沼津市立原東小学校 三村隆男共編 実業之日本社
- ・「平成17年度 天童市立干布小学校 学習指導年間カリキュラム」



発行 平成18年3月
発行者 山形県教育センター
天童市大字山元字犬倉津2,515番地
TEL 023 (654) 2155
URL <http://www.yamagata-c.ed.jp>
印刷所 (株) 弘美堂印刷所
山形市青田南 24-45
TEL 023 (631) 2255